

●●相模国府祭（こうのまち）神輿揃い踏み●●

日時:2018年5月5日(土) 天候:晴れ 14000歩 約10Km

集合:JR大磯駅 9時45分 10時出発

コース:大磯駅→東海道松並木→伊藤博文公滄浪閣跡→こゆるぎ緑地→太平洋岸自転車道→旧吉田茂邸→県立大磯城山公園→馬場公園(神輿揃い踏み)→六所神社→国府新宿(バス)→大磯駅經由平塚駅

参加者:高橋文(L) 河野(SL) 班長=清水正 落合 山川 志村

佐藤伊 勅使河原 吉越 吉野 平嶋 小作 神谷 平石 奴田 安永 伊藤真 小野里 青松秀 佐藤繁 新谷 小林 宮野 伊藤美 小島 松村 渡辺り 市村 中村ゆ 桑原 山本 武倉 奥村 中林 長廣 滝川 村上 仁井 島 岩元 吉岡 上曾山/一般:鈴木 竹内 上曾山 計45名

この日は二十四節気の一つ「立夏」。暦の上ではこの日から「立秋」の前日までが夏と考えられていますが、今年はまだもうすでに夏日や猛暑日が記録されていて、地球温暖化の影響で年々季節感にもズレが生じているようです。さて今回の例会には、久しぶりに吉野会長も参加、あちらこちらで笑顔の輪に取り囲まれていました。午前の部は、旧島崎藤村邸前の狭い公園でストレッチ後、リニューアルなった旧吉田邸を見学、県立大磯城山公園でランチとなりました。午後は本日のメイン、毎年5月5日に行われる相模国府祭です。「こくふさい」または「こうのまち」とよばれ、これは一千年の歴史を持つ神奈川県無形民俗文化財に指定されている祭り。相模六社の神輿が揃い踏みの馬場公園は凄い人波で、すでに六所神社の神輿が到着。園内と沿道には露店が建ち並び、神輿合同渡御を見る人々で埋まっていました。後続の神輿が見えると、沿道の熱気も最高潮。笛・太鼓・雅楽と、古の歴史が感じられる勇壮な祭りを堪能し、最後はバスで大磯・平塚駅に出て各自帰路へ。

今日は子供の日、家々には鯉のぼりが五月の風を受け元気に泳いでいましたが、近年は少子化の影響か鯉のぼりの数も減り寂しいです。 ※夏日で紫外線と人混みと埃の中、皆さんお疲れ様でした！

<フォトレポート 小島>



旧吉田茂邸庭園で。(皆さんの目線が左を向いているのは、Sさんカメラのセルフタイマーがかかっているため！)



朝の大磯駅前。久しぶりに吉野会長の姿も。



人数が多いのでS.L, 班長も大忙し・・・



遅れた人はS.Lに任せて出発します。



旧島崎藤村邸前の小公園でストレッチ。(狭すぎ～)



初めに二年ぶり参加の吉野会長の挨拶から。



リーダーは自他ともに“祭り男”の高橋L。



狭いので東屋内の説明はスシ詰め状態！



吉越さんからは総会関連の説明も。



まずは旧島崎藤村邸に入ります。



藤村お気に入りの書齋を見学。



最後の「涼しい風だね」の碑も。



東海道を歩道橋で渡る。早速本日の足慣らし！



江戸時代から大切に育てられた「東海道の松並木」



伊藤博文公滄浪閣の碑。



その横で小休止。陽射しが強くなってきました。



遥かに湘南平。赤い鉄塔と展望台で分かった！



海だ～！細い道を下るとそこには青海原が・・・



西湘バイパス沿いに出ました。海風が心地よい道です。



ここは「太平洋岸自転車道」。(確かに沖は太平洋ですが・・・)



連休のさなか事故のようです。(どうもパトカーは苦手！)



パトカーを見ても動じない高橋シ。さすが大物！



旧吉田茂邸。満開のバラがお出迎え。



別の団体が先に入っているようです。



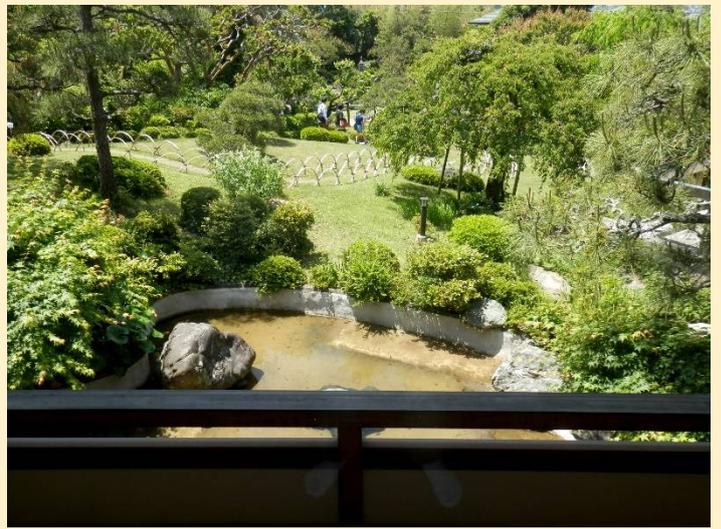
リニューアルした新館に入ります。



吉田茂が晩年過ごした部屋。(復原)



近代数寄屋建築の建物。二階の粋な障子窓。



部屋からは緑溢れる庭園が見下せます。



竹林を背景にした大きな窓。



独特のスタイルでした。



名言? 「バカヤロー」のモニュメント。



部屋からは相模湾も眺められます。



吉田茂の銅像。



敷地内には七賢堂がありました。



庭園。こんな場所に住んでいて「バカヤロー」は・・・



バラに未練を残しつつ・・・「行くぞ〜」はツレナイ。



城山入り口。(関東ふれあいの道へも)



あれが城山。昔は砦だったか？



東海道を渡る。左は小田原方面。



ランチ場所の県立城山公園に入ります。



園内には整備された緑の小道が続いて・・・



休憩所の展望台はすでに満員状態で座れず。



そこからはかすかに富士の姿が望めました！



広い園内。好きな場所でのランチタイム。ここでのんびりと食べていて、他の写真を撮るのが間に合わず！



城山公園で全員集合。シャクナゲと緑が中心で皆さんはお飾り？（ウォーリーを探せ！自分は何処にいる？）



集合写真も撮り終えて、さあいよいよ祭り会場へ。



木々のトンネルに行く。皆さんの顔が緑色に染まって。



川沿いの道に出ました。



南風に鯉のぼりも元気に泳ぐ。



本物の鯉も負けずに元気です！



祭り会場に近づいた。馬もお疲れさま！



これ何？化粧塚に見合いの松??



神輿揃踏みの馬場公園。すでに六所神社の神輿も。



園内は工夫を凝らした店が軒を並べています。



沿道に出て神輿を待ちます。まず来たのは「寒川神社」の神輿。ちょっと地味目か。



続くのは二宮「川勾神社」の神輿です。



この笙と笛の皆さんは涼しそうな色合いです。



次は相模の国三之宮の「比々多神社」の神輿でした。



鳳凰を頂いた神輿は歴史を感じる逸品です。

●国府祭：（「こくふさい」または「こうのまち」）は、神奈川県中郡大磯町国府本郷の神揃山及び「大矢場」（現在の馬場公園）で5月5日に行われる祭礼。別名「天下祭」「端午祭」ともいう。はじめりは今から一千年以上前、地方に国、郡の制度が定められていた時代に、相模国の行政なる長、国司が相模国の天下泰平と五穀豊穡を神々に祈願したものといわれています。相模国内の主要五神社を国府に近い柳田大明神に併せ祀って総社六所神社とした故事によるとされる。神奈川県無形民俗文化財に指定されている。（資料より）

■相模国の六社：寒川神社（一之宮）寒川町・川勾神社（二之宮）二宮町・比々多神社（三之宮）伊勢原市・前鳥神社（四之宮）平塚市・平塚八幡宮＝平塚市・総社六所神社＝大磯町



「前鳥神社」の行列が来ました。



古式ゆかしいいでたちです。



どの神輿も殆ど同じに見えますが・・・



巫女さんもお疲れ気味！（人手不足のアルバイト？）



最後は「平塚八幡宮」。ハッピーが緑が目立つ！



こちらの巫女さんたちは笛で・・・お疲れさま！



馬場公園内はこの混雑ぶりでした。



仕事が終わわり、歩きカキ氷ですか？



祭りを後に六所神社で参拝し休憩です。



ああ、疲れた～。床几に腰かけてほっと一息。



ここで高橋しより締めと帰路の説明。



国府新宿バス停から平塚駅へ。

END